

チェックシート
ステンレスシーム溶接防水工法

中 間 検 査

責任施工業者			
工 事 名			
区 分	チェックポイント	良	否 改善方法
材 料	露出工法の場合、溝板は、SUS 304 0.4mm以上の材質・板厚を使用しているか。		
	非露出工法の場合、溝板は、SUS 304 0.3mm以上の材質・板厚を使用しているか。		
	下葺材は、アスファルトルーフィング940、又は、発泡ポリエスチレンシート4 ^t を使用しているか。		
	吊り子止めが、異種金属の場合、電蝕防止がなされているか。		
	アンカー止めの場合、コンクリートの強度が出ているか。		
下 地 の 状 態 及 び 下 葺 き	断熱材の使用は指定してあるか。使用の場合、同等又は同等以上の品質であるか。		
	下葺材は、隙間なく敷き込まれているか。		
墨 出 し	割付け、墨出しは、施工図通りであるか。		
吊 り 子	m ² 当り3.5本以上、強風地域では5本以上あるか。		
	吊り子自体、繰返し荷重に耐えられる強度であるか。 (固定部分吊り子の場合、板厚と吊り子の長さ、止めた頭の引抜強度を確認)		
	スライド吊り子の場合、スライド機能を果たしているか。		
	通し吊り子の場合、継ぎの部分でシームがとんでないか。		
施 工	各メーカーの標準施工法通り施工されているか。		
適 用			

検 査 日	年 月 日	再 検 査 日	年 月 日
-------	-------	---------	-------

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

年 月 日

株式会社 全日本建築板金保証センター北海道支部長 殿

支部長	委員長		事務局

検 査 員 氏 名

検査員資格番号

チェックシート
ステンレスシーム溶接防水工法

完 成 検 査

責任施工業者				
工 事 名				
区 分	チェックポイント	良	否	改善方法
納 め	全てシーム溶接納めであるか。(コーキングの使用禁止)			
	材料の温度による変化を考慮して納めたか。			
そ の 他	屋根面は、清掃されているか。			
	ドレンの凍結による破損の虞はないか。			
施 工	各メーカーの標準施工法通り施工されているか。			
適 用				

検 査 日	年 月 日	再 検 査 日	年 月 日
-------	-------	---------	-------

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

年 月 日

株式会社 全日本建築板金保証センター北海道支部長 殿

支部長	委員長		事務局

検 査 員 氏 名

検査員資格番号